

2020年9月3日の卓話は、宮島俊雄会員による「腎臓と透析」でした。  
ご自身の約3年前から腎臓機能の低下、透析に至るまでの経緯、「生きる」意味と感謝等、ご本人しか感じられないお話を率直に語って頂きました。



東京ベイロータリークラブのホームページが新しくなりました!!

<https://tokyobayrotaryclub.com>

アクセスおまちしております!!

- ニコニコボックス
- 岡本 隆一君 宮島さん、卓話よろしくお祈いします。
  - 原田 俊彦君 宮島さん、卓話楽しみにしてお祈います。
  - 宮島 俊雄君 本日、卓話させていただきます。
  - 石渡 秀雄君 宮島さん、よく聞きますので、よろしくお祈い致します。8月31日に引っ越しました。まだまだ段ボールだらけです。手際が悪い引越業者でイライラモードです。
  - 林 茂男君 コロナ、ヒヤヒヤしながら来ています。宮島さん、卓話、ご苦勞様。
  - 金子高一郎君 宮島さん、卓話、宜敷くお祈いします。
  - 波多野幸雄君 宮島さん、本日の卓話よろしくお祈いします。
  - 野木 芳宏君 宮島会員の卓話、楽しみにしてお祈います。
  - 土屋 東明君 宮島さん、卓話、宜しくお祈いします。
  - 工藤 久志君 宮島さん、本日の卓話、よろしくお祈いします。
  - 田中 保 君 今日は、宮島さん、よろしくお祈いします。
  - 荒井 節子君 宮島さん、今日は心待ちにしてましたよ。よろしく!!
  - 水谷 文彦君 宮島さん、卓話、楽しみにしています。
  - 三宅 郁子君 宮島さん、卓話聞きたかったです。
  - 許 瑛子 君 宮島さん、卓話、楽しみにしています。よろしくお祈いします。

合計 30,000円

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO  
BAY  
ROTARY  
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区  
VOL.30 NO.9 第1348回 2020年9月10日



Rotary Opens  
Opportunities  
ホルガー・クナーク会長

第2580地区ガバナー  
野生司 義光(東京小石川RC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日の卓話

ガバナー公式訪問  
第4回 クラブ協議会

次回以降の卓話

9月17日 特別休会①

9月24日卓話「税とは何か」  
田中 保 会員

2020年9月3日  
第1347回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
19人	17名	89.47%	8月20日 100%

- 点 鐘
- ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
- ゲスト 米山奨学生 グエンマイアインさん
- ビジター なし

<幹事報告>

・次週9月10日は、ガバナー公式訪問です。11:15より、3階「クラウン」のお部屋でクラブ協議会を開催いたします。また、例会は、4階「瑠璃の間」になりますので、お間違えのないようお願い致します。

・9月1日よりクラブのホームページが新しくなりました。アドレスは追ってお知らせ致しますので、是非、アクセスしてください。

<伝達・贈呈>

・9月度記念日  
ご本人お誕生日:14日 三宅郁子会員、18日 工藤久志会員、25日 波多野幸雄会員  
配偶者様お誕生日:12日 岡本泉様、30日 林陞子様

・米山奨学奨学金贈呈



■ 例会日	毎週木曜日 12:30~13:30	■ 役員 / 会長	岡本 隆一
■ 例会場	〒103-8520 東京都中央区日本橋蠣殻町2-1-1 ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615	会長以外	原田 俊彦
■ 事務局	〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611 E-mail tokyobay@club.email.ne.jp	幹 事	原田 俊彦
		副幹事	田中 保
		会報委員長	市川 英治

## ようこそ ガバナー

国際ロータリー第2580地区  
野生司 義光(のうす よしみつ)ガバナー略歴

生年月日 1949(昭和24)年4月17日

事業所 株式会社野生司環境設計 代表取締役  
株式会社建築家会館 代表取締役社長

学歴 1973年 3月 千葉工業大学 建築学科 卒業

### 職歴

1973年 4月 株式会社松田平田坂本設計事務所 入社  
1990年10月 株式会社野生司環境設計 設立 代表取締役就任  
1991年 4月 千葉工業大学建築都市環境学科 非常勤講師(現職)  
2010年 6月 株式会社建築家会館 代表取締役社長就任

### ロータリー歴(職業分類:建築設計)

1991年 7月 東京小石川ロータリークラブ入会  
1998~99年度 東京小石川ロータリークラブ幹事  
2005~06年度 東京小石川ロータリークラブ会長  
2016~17年度 ガバナー補佐  
2017~18年度 地区拡大増強委員

ロータリー財団メジャードナー  
ベネファクター  
米山功労者



2020.4.9現在

2020.9.10

30周年記念寄稿

2012-13 PAG 林 茂男

## 第五回 「ロータリーのServiceを『目的(旧・綱領)の原語』に見る」

※前回に引き続き、最も肝心なことなので続けました。

### Object of Rotary(原文)

The object of rotary is to encourage and foster the **ideal of service** as a basis of worthy enterprise and in particular, to encourage and foster:

#### First.

The development of acquaintance as **an opportunity of service**;

#### Second.

High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as **an opportunity to serve society**;

続く

#### Third.

The application of **the ideal of service** in each Rotarian's personal, business, and community life;

#### Fourth.

The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in **the ideal of service**

#### ①この **the ideal of service** の意

原語の「**Ideal**」は「理想の完璧」「**Service**」は「相手を思う(行為)」  
故に「相手を思う完璧な形」となる ⇒ 「奉仕の理想」「奉仕の理念」ではない

#### ②**an opportunity of serve socity** の意

「相手を思う(行為)社会への機会」となる  
⇒ 「奉仕の社会への機会」ではない、意味合いが浅い

改訳試案 廣畑富雄著「ロータリーの心と原点」で下記のように訳されています。

ロータリーの目的は、**サービスの理想**(高いレベルのサービス、理想的なサービス)を、世の中に役立つ諸事業の基礎とするよう、勇気づけ、推進することにある。

特に次のことを推進し、勇気づけることにある。

第一に、知り合いを広げ、**サービスの機会**を増やすこと。

第二に、事業や専門職種において、高い倫理水準を保つこと。すべて世の役に立つ職業は、有益なものだと評価し認識すること。各ロータリアンの職業は、**世の役に立つもの**として品位有らしめること。

第三に、**サービスの理想**を、各ロータリアンの個人生活に、ビジネスの上に、社会生活に適用すること。

第四に、世界の実業家や専門職種の人たちが、**サービスの理想**のもとに結ばれ、国際理解、国際間の善意、国際平和を推進すること。

以上、ロータリーの本質を理解しているパストガバナーの諸氏は「奉仕」と言わず、徹底的に「サービス」で通しています。

ここで、もう一度、佃パストガバナーの言うServiceを記します。

「サービスは、人をおもんばかって人のために行動する行為を言う。これにプラスして倫理的な意味が非常に強い。語源的には神に対する人間としての義務を果たすという意味がある」

深川先生は「ロータリーは慈善団体でもボランティア団体でも無く、勿論、単純な「物を与える」「恵む」と言う奉仕団体でもないのです。「奉仕の社交クラブ」では絶対ないのです。ロータリーの思想の原点は職業人或いは人は如何にあるべきか、倫理を守る人間、道徳を守る人間を作ることによって世の中を明るくしていこうという高尚な倫理運動なのだ」と言われています。

私も、現在の「目的」、手続要覧の「五大奉仕」、「行動規範」に「倫理基準」「高潔」「道徳的水準」「品位」とあり、ロータリーの第一義は、ロータリアンが「自己研鑽して学ぶ」会員が如何に全うな『良心』『意志』『理性』を持ち合わせるようになるかを優先的に啓蒙しているのだと理解しています。

テーマ「Service」の項を終了します。如何だったでしょうか。

“奉仕の社交クラブ”ではないロータリー思想・精神の意義深さを感じる部分だと思いませんか。